

産衛だより

平成 17 年度事業報告 日本産業衛生学会四国地方会

- ①第 49 回中国四国合同産業衛生学会
平成 17 年 11 月 27 日 (日) 場所 サンポートホール高松,
高松市
学会長: 氏家陸夫 (氏家労働衛生コンサルタント事務所)
学会長講演「豊島廃棄物等処理事業と健康管理の現状」
特別講演 I「心理社会的健康障害要因への対応戦略のあり方」
特別講演 II「職場における生活習慣病の管理」
一般演題: 14 題
- ②産業医・産業看護・産業衛生技術部会研修会
平成 17 年 11 月 26 日 (土) 場所 サンポートホール高松,
高松市
産業医部会: 「事例に学ぶ職場改善ワークショップ」
1「どこまでやるか? デスクワークの人間工学的対策」
2「トルエン使用職場の作業環境改善事例」
産業看護部会: ワークショップ「行動変容を伴う効果的な保
健指導等の進め方」
産業衛生技術部会: セミナー「これからの化学物質管理」
1「豊島廃棄物等処理事業における有害物質の対策につ
いて (特に作業環境管理について)」
2「大学における化学物質管理」
- ③四国地方会総会
平成 17 年 11 月 27 日 (日) 場所 サンポートホール高松,
高松市
- ④四国地方会役員会
平成 17 年 7 月 9 日 (土) 場所 香川県県民ホール, 高松市
平成 17 年 11 月 26 日 (土) 場所 サンポートホール高松,
高松市
- ⑤中国・四国合同役員会
平成 17 年 11 月 26 日 (土) 場所 サンポートホール高松,
高松市
- ⑥地方会ニュース発行
第 24 号および第 25 号

平成 17 年度第 4 回専門医制度委員会議事録

1. 日 時: 平成 18 年 2 月 5 日 (日) 11 時~14 時 25 分
2. 場 所: 財団法人 労働衛生会館
3. 出席者: (五十音順)
井谷 徹, 圓藤吟史, 杉本寛治 (委員長), 東 敏昭 (事
務局: 東 敏昭), 広瀬俊雄, 山田誠二, 大久保利晃 (顧
問)
欠席者: 大前和幸

4. 議 事:

I. 報告事項

- (1) 指導医・専門医・研修医登録状況について (資料 2005-35)
資料に基づき, 平成 18 年 1 月 30 日現在の登録状況が指導医
251 名, 専門医 124 名, 研修医登録医 386 名と事務局より報告
された。
- (2) 平成 17 年度専門医制度委員会事業報告 (資料 2005-39)
東事務局長より資料に基づき, 標記について説明があった。
- (3) 情報管理方法について
今後, アンケート, 資格更新などの機会にふれて情報公開の
可否, 公開の範囲についての承諾を指導医, 専門医からとるこ
ととする。ただし, 公開を原則とする基本情報であるとした経
緯もあるので, 「公開に賛同しない」とする者を確認する方式
をとることとした。また, 産業衛生学会の説明会において, 確
認を行うこととした。
- (4) 専門医制度事務局員雇上げについて
産業医科大学においた事務局にて, 大学業務と兼業で専門医
制度事務局業務を行っているアルバイト職員の大学からのクー
リングオフ期間 2 ヶ月については, 業務の集中時期であること
もあり, 専門医制度業務に専念してもらうこととした。
- (5) 日本専門医認定機構について (資料 2005-47・48・49)
東事務局長より, 同機構の資料, 日本医師会学術推進会議の
第 III 次学術推進会議報告書「わが国における専門医のあり方」
について, 学会におかれた専門医認定の仕組みは, 海外の専門
医認定機構と相違があると述べられていることなどが紹介され
た。今後も標榜のための外形基準は変更されそうもないこと,
それにもかかわらず, 本専門医制度が同機構加盟の日本医学会
加盟学会であることの意義が再確認された。

II. 審議事項

- (1) 指導医資格更新の可否について
①「経過措置による指導医」第 1 期の 2 回目更新遅滞者につ
いて (資料 2005-36)
経過措置による指導医の第 1 期該当者で 2 回目更新遅滞者 1
名について, 本人からの申請があったため, 審査を行い, 資格
有りとして更新日を本来の日に遡って, 更新を認めることとし
た。
- ②「専門医から指導医」第 2 期の 1 回目更新暫定者につ
いて (資料 2005-37)
第 2 期専門医試験合格者のうち, 申請区分が指導医として更
新申請があった 1 回目更新暫定者 1 名について審議し, 指導医
として認定することが承認された。
- (2) 産業医実務研修手帳の改訂 (第 4 版) について (資料
2005-38)
改訂版の印刷を予定している標記手帳について内容を審議
し, 原案どおり承認された。なお, 印刷は本会計年度内とし発
行時期は 4 月を目処とすることとされた。
- (3) 平成 17 年度決算 (案), 平成 18 年度予算 (案) につ
いて (資料 2005-40)
資料に基づき, 平成 17 年度決算 (案), 平成 18 年度予算
(案) について審議が行われ, 原案どおり承認された。

(4) 平成 18 年度専門医制度事業予定について (資料 2005-41)

専門医資格認定試験関係の日程を確認した。受験資格認定を行なう平成 18 年度の第 1 回専門医制度委員会は 7 月 2 日 (日)、労働衛生会館にて 11:00-15:00 の予定で開催することとした。受験申請書類配布開始は 4 月 1 日から、受験資格審査申込受付は 5 月 8 日~6 月 9 日、受験資格審査結果と試験実施要領の通知は 7 月下旬、資格認定試験は 8 月 26 日 (土)・27 日 (日)、資格認定試験の合格発表は 8 月 29 日、専門医認定証交付式は 9 月 24 日 (土) を予定することとした。

(5) 第 79 回日本産業衛生学会における専門医制度説明会について (資料 2005-42)

5 月 12 日に、説明会を予定どおり実施することが承認された。

(6) 平成 18 年度専門医資格認定試験について (資料 2005-43)

専門医制度委員会の大久保利晃顧問 ((財)労働衛生会館会長) から、専門医資格認定試験の会場として、受験者が増加した場合でも対応できる部屋数を持つ労働衛生会館を提供できる旨、申し入れがあり、審議の結果、設備等の確認の上、同会館を試験会場として使用することで準備を進めることが確認された。

(7) OHAS 研修会の委員会公認について (資料 2005-44)

従来産業医学推進研究会が主催していた OHAS 研修会について、平成 18 年度より、(財)労働衛生会館が主催することになったことから、専門医取得を目指す研修登録医に推奨する研修としての承認と、対象者全員に情報を提供することについて改めて協力依頼があり、委員会としてこれを承認した。

(8) 指導医に対する研修指導状況についてのアンケートの実施について (資料 2005-45)

指導医に対する指導状況についてのアンケートを原案どおり実施することになった。指導医に対する、動機付けにも繋がるのが期待できる。本アンケートは 3 月に実施する予定とした。

(9) 研修医に対する受験意向アンケートの実施について (資料 2005-46)

研修医の今後の受験予定に関するアンケート調査の内容につ

いて、昨年同様、受験に至らない理由についての選択肢を加え、同じ方法で実施することとした。本アンケートは 3 月に実施する予定とした。

(10) 産衛学会専門医制度のこれからの方向性について (資料 2005-50)

外形基準を満たさないことから厚生労働省の標榜許可が受けられない、本学会専門医の状況について、①専門医の意義・専門性のレベルについての整理を行い、学会員のコンセンサスをうること、②外形基準を満たすための条件整備の具体的方策の再検討、③基準をクリアする別法人を新設する場合、全く学会を離れた組織にはしない方法で、標榜実現の方策を検討することとした。

(11) その他 (次回委員会開催日について)

次回、平成 18 年度第 1 回専門医制度委員会は 7 月 2 日 (日)、労働衛生会館にて 11:00-15:00 の予定で開催することとした。

平成 17 年度新入会者

[福島] 大河内富子, 佐藤仁子, 畑 淳子 [埼玉] 曾根智史, 武見ゆかり, 中村吉伸 [千葉] 齊藤高雅, 御園生剛志 [東京] 角みどり, 高橋道子, 奈良橋俊子, 濱田広美, 廣川 進, 福田雅臣, 宮澤絹代, 村上 進, 山崎洋治, 渡邊 潔 [神奈川] 石原孝子, 伊藤いづみ, 北尾誠英, 柴田香里, 長須美和子 [石川] 鈴木寛之, 任田和子, 山田美紀 [福井] 堀口里美 [静岡] 三浦真美 [愛知] 杉本怜子, 須田 治, BEER MOHAMED, 牧田陽子 [京都] 岩 昌宏, 笹岡知子, 畑中知子, 矢野 忠 [大阪] 足立和也, 屈 田力, 阪本親彦, 下良裕子, 高橋博光, 田上光男, 松原一恵, 三井 剛, 呂 玉泉 [兵庫] 胤森さち [愛媛] 永瀬 勉, 山岡伸三 [福岡] 青木隆敏, 川波 哲, 白鞘康嗣, 田中みのり, 濱田高太郎 [佐賀] 久保和泰 [熊本] 杉山恭子